

市街化調整区域あり方検討委員会答申に対する主な意見（農業関係者）

| 概 要 | |
|-----------|---|
| 答申について | <ul style="list-style-type: none"> ・農業者の声を良く聴いてほしい（あり方検討委員会に農業者、地権者等を入れるべきだった。農業関係者へのアンケート等の実施を。十分時間をかけて行政と農家が議論できる場を。等） ・様々な施設が立地し乱雑な土地利用となっている（行政の施設も多く立地している。違反建築への対処など不公平感のない施策を講じてほしい。許認可の強化を。等） ・新たな規制に対して反対である（緑地の保全は大事だが、緑の管理と税金は地権者の負担である。環境や景観の視点だけで、地権者の私有権と生活と意向を無視し、更なる規制をかけるのは、反対である。調整区域しか土地をもたない者にとって死活問題。等） ・規制ありきでなく、具体的に納得できる支援策を提示してほしい（制度の詳細がわからないので意見がいえない。答申の内容は抽象的である。具体的な支援策を示してほしい。等） ・新条例の効果的活用を（条例制定により都市農業振興と緑の保全を。農地・緑地の行政による買取・活用を。一定以上の同意により土地利用が可能となるような制度の検討を。等） ・従来のものでよい（従来の調整区域のあり方でよい。土地を次世代へ引き継ぐため調整区域を希望。等） |
| エリア区分 | <ul style="list-style-type: none"> ・一方的なエリア分けはしないでほしい（住民の意思をまずきくべき。住環境の保全（防災・防犯・防火）区域の特性を十分配慮した、緑と都市が共生できる位置づけを。実情実態を十分に把握し対処すべき。地権者や農業者の生活が維持でき、経済的格差が生じない対策を。等） |
| 農業・農地について | <ul style="list-style-type: none"> ・農業収入だけでは生活が成り立たない（農産物価格が不安定。農業外の収入に頼らざるを得ない。小規模農業では農外収入によらなければ生計の維持ができない現状。等） ・農家は高齢化し、後継者もいない（農地の荒廃が進んでいる。後継者に作物を生産する技術・経験がなく、維持管理が困難。農業を継続しない者が農地を相続することが問題。土地活用できるように望む。等） ・営農環境が悪化している（農地周辺に住宅が建ち並び、農薬のにおいや騒音等で問題がおきている。資材置き場等無秩序な土地利用により農環境が脅かされることのないように抑制してほしい。耕作しやすい生産性の高い環境をつくってほしい。補償でなく農環境への配慮が大事。等） ・農業の活性化につながる支援・対策を（団塊の世代で農業に興味がある人を取り込む。荒廃農地の再生・利用推進等を目的とした農地売買のシステムづくりを。農地を残し、増やす政策を。小規模でも農地として振興する施策の展開を。市民に資金的・人的に協力してほしい。農業に必要な施設等の整備を許容してほしい。就農者の育成制度を。休耕農地を家庭菜園として活用を。農地の活用の選択肢がほしい。等） |
| 緑地保全について | <ul style="list-style-type: none"> ・山林の維持、管理は大変（落葉、大木となり掃除や伐採に費用がかかる。市が所有し、税金をアップして管理費に。相続発生時に買取してほしい。所有者のみに負担がかかりすぎている。管理路を整備し、散策のできる里山にしてほしい。放置すると犯罪や災害の誘因となる恐れがある。緑地を保全することによるメリットがない。等） ・緑地保全のために、新たな制度を（一方的な負担ではなく、市民に応分の負担をしてほしい。重要な緑地は市に買い取ってほしい。市民のボランティア育成・協力。歳出が発生しない方法も考えるべき。緑地保全は地球温暖化防止等のためにも重要。等） ・市街化区域への取り組みもあわせて示すべき（緑被率の向上には都市部での対応も必要。市街化区域の緑も積極的に保全すべき。等） |

市街化調整区域あり方検討委員会答申に対する主な意見（農業関係者）

| | |
|---------|---|
| 税制度について | <ul style="list-style-type: none"> ・相続税・固定資産税の減額を（相続税による土地の売買が緑地や農地の減少の理由の一つである。山林や傾斜地は全く土地利用ができず、収入もない。土地所有者が農地や山林のままもち続けられるように。農業収益だけでは払いきれない。相続時における補助等を検討してほしい。税制度の問題について、更なる市の努力が必要。等） |
| 線引について | <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の見直しをしてほしい（駅周辺や幹線道路沿いは市街化区域にしてほしい。36年前と今とではギャップがある。都市に農地は不要では、土地の格差が大きすぎる。線引制度を廃止してほしい。線引当時は定期的に見直すと言っていた。等） ・市街化調整区域は残すべき（市街化区域になったら税金を払いきれない。市街化調整区域を希望する場合は、規模の大小に拘らず認可すべき。等） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・調整区域で生活が不便（生活道路の整備をしてほしい。救急車や消防車が入れる道路を。等） ・農地や山林への不法投棄で困っている。 |